

## テトラヒメナの接合における PI3-Kinase 阻害剤の影響について

明松 隆彦<sup>1,2</sup>, Ronald E. PEARLMAN<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>ヨーク大・生物, <sup>2</sup>バンティング博士研究員)

**【要旨】** 絨毛虫の接合中に起こる複雑な核イベントの進行には, 高度に特殊化した制御システムの関与が予想されるが, その実態はほとんど明らかにされていない。今回, テトラヒメナにおける Phosphoinositide 3-kinase の働きに着目し, 接合誘導後の異なる時間帯において IC<sub>50</sub> 以下の阻害剤処理を行い, その影響を調べた。結果, 減数分裂に伴う小核ヒストン H3 のリン酸化, 新旧大核間の転写活性の移行, 旧大核の除去に関わるオートファジーなど, いくつかの重要なプログラムに対する抑制的な作用がみられた。